

第6学年 理科

教科目標

生物の体のつくりと働き及び生物と環境とを関係付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生物の体の働き及び生物と環境とのかかわりについての見方や考え方を養います。

水溶液、物の燃焼、電磁石の変化や働きをその要因と関係付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、物の性質や働きについての見方や考え方を養います。

土地のつくりと変化の様子を自然災害などと関係付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追究する活動を通して、土地のつくりと変化のきまりについての見方や考え方を養います。

学習計画

月	単元・題材名	時数	学 習 内 容 ・ 目 標
4	ものが燃えるとき	1 2	・ものを空気中で燃やして空気の性質とその変化を調べ、ものが燃えるときには酸素が使われ、二酸化炭素ができることを知る。
5	ヒトや動物の体	1 2	・酸素中でものを燃やして、酸素のはたらきやものの質的变化について調べる。
6	生物とかんきょう	1 5	・ヒトや他の動物の体を観察したり資料で調べたりして、消化吸収呼吸、循環などはたらきをとらえる。
7	生物とかんきょう	1 5	・ヒトや他の動物の体のつくりや特徴を多面的にとらえ、生命を尊重する態度を身につける。
9			・動物は他の動物や植物を食べているが、植物は自ら養分をつくり出していることをとらえる。
9	水よう液の性質	1 2	・ヒトや他の動物・植物と、食物、水、空気などのかかわりを調べ、生物は周囲の環境と相互にかかわり合っていることを、総合的にとらえる。
10	大地をさぐる	1 2	・水溶液には、金属を変化させるものがあることをとらえる。
11	大地の変化	9	・水溶液はリトマス紙などの色の変化によって酸性・中性・アルカリ性の3つの仲間に分けられることや、水溶液には気体が溶けているものがあることをとらえる。
12			・水溶液の性質とそのはたらきを多面的にとらえ、身の回りの水溶液を見直す。
1	電磁石のはたらき	1 4	・土地は、礫・砂・粘土・火山灰および岩石からできており、層を作って広がっているものがあることをとらえる。
2	自然とともに生きる	9	・地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってでき、化石が含まれているものがあることをとらえる。
3			・大地は地震や火山の噴火などによって変化することをとらえ自然災害と関係付けながら大地の変化について調べる。
	合計授業時数		95時間

理科の評価は

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
自然事象への関心・意欲・態度	・自然事象を意欲的に追究し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとしているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習態度 ・ ノート ・ 実験記録 ・ 実験態度 ・ 発言 ・ テスト など 総合的に評価します。
科学的な思考	・自然事象の変化とその要因との関係に問題を見だし、多面的に追究し、相互関係や規則性をとらえ、問題を解決しているかどうかという観点から見ます。	
観察・実験の技能・表現	・問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現しているかどうかという観点から見ます。	
自然事象についての知識・理解	・生命は互いに類似した体のつくりと働きをもち環境とかかわって生きていることや、物に外から条件を加えると物の性質や働きが変わること、土地のつくりと変化にはきまりがあることなどを理解しているかどうかという観点から見ます。	